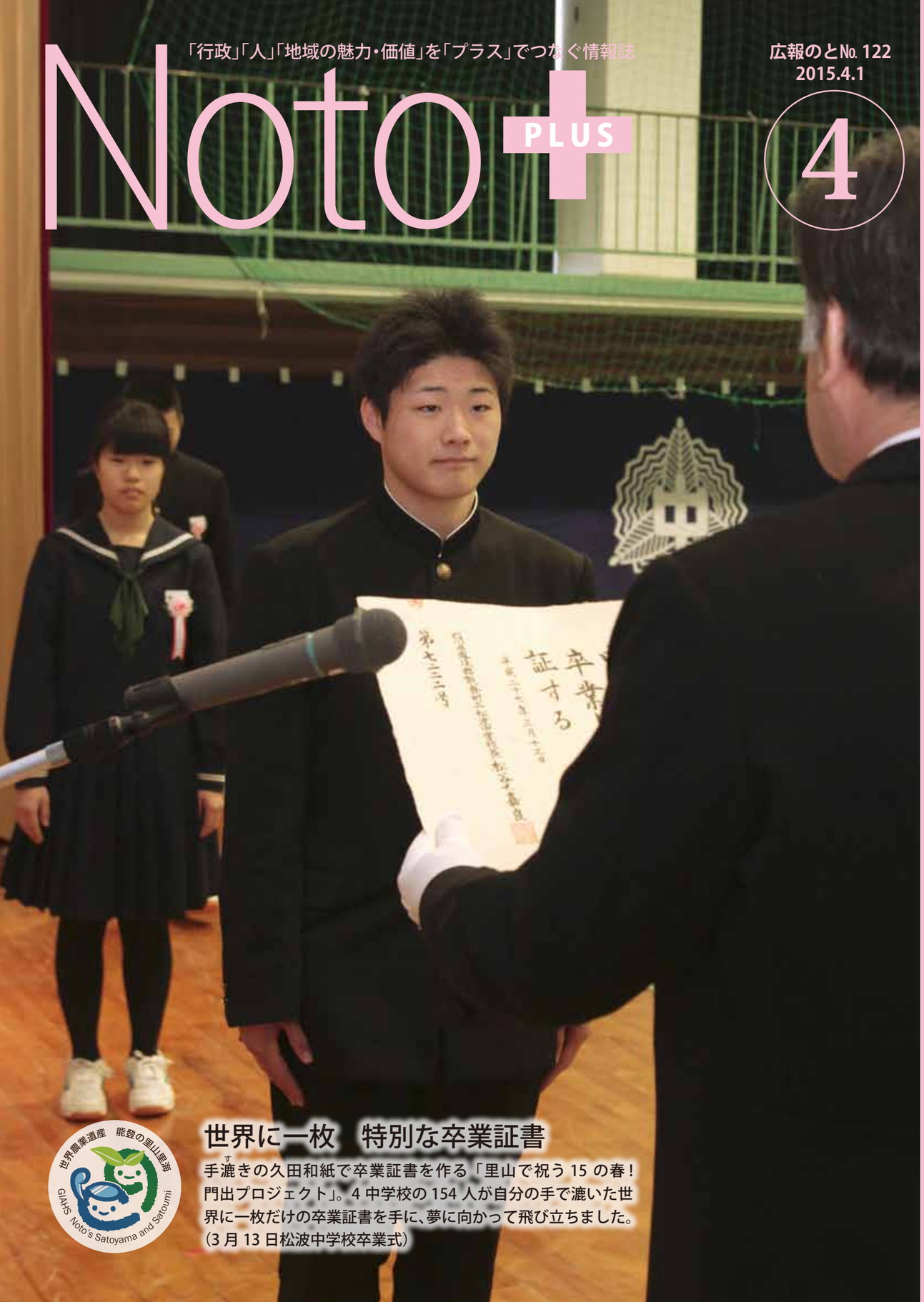
「行政」「人」「地域の魅力・価値」を「プラス」でつなぐ情報誌

Noto PLUS

広報のと No. 122
2015.4.1

4

広報のと 第122号
平成27年4月1日発行



世界に一枚　特別な卒業証書

手漉（す）きの久田和紙で卒業証書を作る「里山で祝う 15 の春！門出プロジェクト」。4 中学校の 154 人が自分の手で漉いた世界に一枚だけの卒業証書を手に、夢に向かって飛び立ちました。（3 月 13 日松波中学校卒業式）

■発行：能登町　■編集：広報情報推進課
〒927-0492
石川県鳳珠郡能登町字宇出津新1字197番地1
☎：0768-62-1000㈹
能登町 URL：http://www.town.noto.lg.jp
E-メール：info@town.noto.lg.jp

能登高新聞

〈編集協力〉
能登高等学校
☎ 62-0544

プロの技術とこだわりを学ぶ

能登高校柳田校舎で金沢・メープルハウスのパティシエ松本和哉さんを講師として招き、地元産の食材を使ったデザート作りを行いました。県教育委員会「未来の職業人プロジェクト」の一環として開かれたもので、農業コースの2年生13人が参加しました。用意された食材は地元産の冷凍ブルーベリーと金剛建設が穴水町の農園で生産しているイチジク「バナーネ」です。バナーネは糖度が高い品種で加工用として能登高校の実習に今年度から提供されます。

生徒は講師の松本さんの手際の良さに圧倒された様子でした。「気泡を壊さないように混ぜるとスポンジがきれいに仕上がる」といったプロのこだわりにも触れました。松本さんは「冷凍した食材も加工すれば商品として活用できることを知ってほしい」と生徒に話しました。今回学んだプロの姿勢は、実習での商品開発に役立てられます。

松本さんのアドバイスを受けながら「いちじくロールケーキ」を仕上げる生徒

72人が学びやから羽ばたく

能登高校の卒業証書授与式は3月3日に行われ、普通科30人、地域創造科42人のあわせて72人が学びやを後にしました。谷紀美子校長は式辞で「志に向けて努力して、人間としての価値を高めて」と話し、卒業生を激励しました。卒業生を代表して仙福和弥さんが答辞で3年間の思い出を話すとともに「希望を持って前に進みます」と決意を述べました。

卒業証書を受け取る代表の生徒

「広報のと」4 月号の印刷費は一部当たり 41 円です。

里山で祝う15の春　門出プロジェクト

3年間の思い出、伝統の和紙に刻む

取り組み2年目の「能登町里山で祝う15の春！門出プロジェクト」。町内の中学3年生154人が久田和紙の伝承団体「みわ会」会員と共に手すきの卒業証書作りに挑みました。

楮（こうぞ）はクワ科の植物で山に自生している。卒業証書を作るためには軽トラック数台分が必要で、採取が容易となるよう久田地内の休耕地に移植した。（10月22日）

卒業証書完成までの作業工程

①和紙原木の移植
和紙の原料である「楮（こうぞ）」を久田地内に移植（5月23日、松波中生徒が体験）

②原木採集
自生する原木を採取。（10月22日に小木中が体験）

③原木切りそろえ　④原木蒸し　⑤黒皮製造　⑥白皮製造
採集した原木を蒸し器に入るよう一定の長さに切りそろえる。蒸されて縮み、剥がれた樹皮の表面の黒い皮を丁寧に小刀で剥いで、白皮だけが残るように掃除する。（11月19日柳田中と小木中が合同で実施、20日能都中、25日に松波中）

⑦水洗い　⑧煮熟　⑨水洗い（2回目）
不要物を洗い流し、柔らかくなるまでアクを取りながら煮る。再び水でアクを流す。（みわ会会員が実施）

⑩塵取り　⑪打解（こうかい）
小刀などで丁寧にチリを取り除き、叩き棒で繊維を細かくほぐしながら、粘りがでるまで叩く。（12月10日能都中、11日柳田中・小木中、16日松波中）

⑫攪拌（かくはん）
細かくした繊維をかき混ぜ、均一にする。（みわ会）

⑬紙漉（すき）き
溶かした原料にねり材のトロロアオイを混ぜ、すき枠で漉き上げる。（1月13日松波中、21日能都中、22日柳田中・小木中）

⑭圧搾（あっさく）　⑮乾燥
漉き上げた紙を布に移して板にはさみ、圧力を掛けて水分を抜き、一枚一枚を板張りして天日で乾かす。（みわ会）

卒業の日。世界に一枚だけの特別な卒業証書を手に春を迎えました。

まな板の上で、和紙の原料を何度も叩き、繊維をほぐす。生徒は根気のいる作業を黙々と続けた。（12月10日）

最後のホームルーム。担任から手渡された証書を手にする松波中生徒。（3月13日）

蒸し器から出した直後の楮の枝。皮が縮んで木から剥がせるようになる。このあと流水にさらされる。（11月19日）

小刀で黒い皮の部分を剥がす。枝がでていた部分は厚みが異なり、刃が引っかかるため、細かい作業が必要とされる。（11月19日）

能都中生徒による作業の様子。すき枠を上げると紙らしくなり、仕上がりのイメージがはっきりした。生徒から笑顔がこぼれる。（1月21日）

あなたも伝統の担い手にみわ会は会員を募集しています

小間生公民館で活動している「紙工房みわ会」では、会員を募集しています。伝統技術の継続と里山の保全につながるこの活動に、ぜひご参加ください。

問小間生公民館☎（76）0275